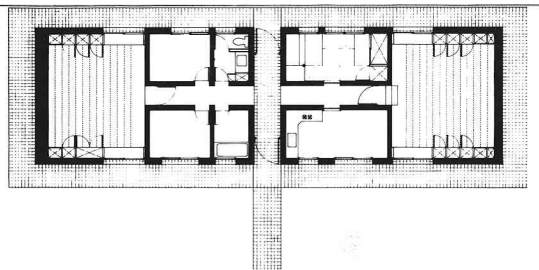


## 080 段象の家

神奈川県 建築設計——相田武文建築研究所

鉄筋コンクリート造，地上1階建，1975年

一種の壁構造の住宅である。壁は斜めになっても有効である。この場合段々になっているが，上下の突出部を除いたものを壁厚と考えている。



左：平面 (S=1/400)

右：南側外観

撮影：松岡満男